

- ・ 運営委員会は、国の特別の財政支援に伴い、税金の効率的・効果的な使用について説明責任・透明性の確保の仕組みが必要であることを了解する。
- ・ なお、政府における具体的検討においては、大学の自立性・柔軟性や学問の自由を損なわないよう留意することを求める。

#### 6. 新法人の設立

- ・ 新法人の円滑な設立のため、大臣が設立委員を任命する。沖縄機構と新法人の継続性の観点から、運営委員を実質的に設立委員とする必要がある。

#### 7. プレジデントの選考

- ・ 大学院大学のプレジデント(理事長・学長)の候補者の選考を直ちに開始する必要がある。
- ・ プレジデントは国際的な学術コミュニティから選ばれる必要がある。

#### 【教学的事項】

#### 8. 教育研究活動

- ・ 大学院大学の教育研究活動は、生命科学、物質科学、応用科学を含む学際的で先端的なものとする。

#### 9. 教育研究組織

- ・ 約50PIs規模での設置認可・開学が前提とされていることを踏まえ、1研究科と4程度の専攻とすることが考えられる。
- ・ 長期的には300PIs程度を理想形とし、その際の研究科や専攻について将来検討される必要がある。
- ・ 教員のテニユア(終身在職権)と定年については、引き続き検討する。

#### 10. 教育課程

- ・ 博士課程
- ・ 学位はPh.D(博士)
- ・ 教育課程編成の基本方針、修了単位数、授業科目の概要等は引き続き検討する。

#### 11. 学生募集

- ・ 国際的な入学時期を勘案し、入学は4月と9月の年2回可能とする。ただし、入学者の審査・選抜については、学生の質の均一性を維持するため、各受験生共通の手続きにより年1回行われるべきである。

#### 12. 他の研究機関との連携

- ・ 他の機関との連携の具体的あり方について引き続き検討する。

#### 13. その他

- ・ 公用語は英語とする。
- ・ 教員と学生の少なくとも半数を外国人とすることを目指す。

#### 開学までに必要となる手続き

※運営委員会としては、学生の実質受入れを、2010年9月から開始することが必要と考える。

大学院大学の青写真の検討；制度的事項および教学的事項



次期中期目標（2009年度～2011年度）

次期中期計画（2009年度～2011年度）

内閣における法案の準備

国会における審議



設立委員の任命、学校法人の設立準備

- ・ 学校法人の寄附行為
- ・ 大学の名称・目的
- ・ 研究科・専攻の名称
- ・ 教育課程の概要
- ・ ボードメンバー（理事）の選任
- ・ 理事長・学長、副学長、研究科長等の氏名
- ・ 教員名簿



学校法人の設立認可・大学院大学の設置認可申請（毎年3月）



大学設置・学校法人審議会における審査（約7ヶ月）



文部科学大臣による認可（毎年10月）



開学準備（第1回理事会の開催、学生の募集等）



大学院大学開学

最低1年

(別添)

検討すべき事項

- ・ 大学院大学の青写真の一部は、2009年度から始まる次期中期目標・中期計画に盛り込まれる。
- ・ 国際的評価を短期間に確立することは困難であり、長期間の政府の支援が必要であるが、特別の財政措置の仕組みの検討に当たっては、国際的評価の確立状況を考慮する必要がある。
- ・ 自立的運営に向け、競争的資金を含めた外部資金の充実のための努力が必要である。
- ・ 説明責任・透明性の確保の仕組みについては、以下の観点がある。
  - \* 私学補助に係る憲法上の「公の支配」の要請
  - \* 補助金の適切な執行(事業計画・成果の審査、報告徴収、是正措置、財務諸表の公開、外部監査、監事の任命等)
  - \* 沖縄振興や科学技術振興の政策目的の観点からの政策対話の仕組み(連絡協議会等)
- ・ 設立委員には運営委員以外の者が含まれることも想定される。
- ・ 機構から新法人への業務、財産、職員等の承継方法を法律に規定する。
- ・ 各時期の実際の規模については、採用活動の状況、競争的研究資金の獲得を含めた国際的評価の状況を踏まえて検討される必要がある。
- ・ 相互の利益に資する分野において琉球大学との協力を促進する必要がある。

## The Activities of outline of the Graduate University Preparation Group in FY2008

平成20年度大学院大学設置準備グループの活動概要

(As of the end of March 2009)  
平成21年3月現在

- Five meetings--May 8, Sep 30, Dec 2, Jan 27, and Mar 24  
(5月8日、9月30日、12月2日、1月27日、3月24日の計5回開催)
- Discussion issues (検討事項)
  - ✓ Basic structure of the Graduate University  
(大学院大学の基本的な姿)
  - ✓ Survey of non-Japanese Graduate Universities  
(海外の大学院大学についての調査)
  - ✓ Survey of graduate S&T programs  
(科学技術大学院プログラムに関する調査)
  - ✓ Next steps in implementing graduate program  
(大学院プログラムの実施)
  - ✓ Preparations for accepting graduate students at OIST in 2010  
(平成22年に機構に学生を受入れるための準備)
  - ✓ Future tasks for Graduate Committees  
(大学院コミッティの今後の業務)
  - ✓ Future tasks for Graduate University Preparation Group  
(大学院大学設置準備グループの今後の業務)
  - ✓ Deliberations on the following items  
(下記の事項に関する審議)
    1. By-laws and University rules  
寄附行為と学則
    2. The number of officers (Vice President (s), etc) and job description of those officers  
役員(副学長等)の数及びそれらの業務
    3. Types of *Kenkuka* (graduate school(s) and *Senko* (major(s)))  
研究科の種類(研究科と専攻)
    4. Admission capacity/ Enrollment capacity  
入学定員/収容定員
    5. Tuition and stipend  
授業料及び奨学金
    6. \* Important issues related to accreditation  
認可に関する重要事項
  - ✓ Time schedule of Graduate Committees' activities in FY 2009  
(大学院コミッティの活動スケジュール)

## OIST Graduate Committees (大学院コミッティ)

PI Name (代表研究者氏名)	Neuroscience (神経科学)	Molecular Sciences (分子科学)	Mathematical & Computational Sciences (数学・計算科学)
Arbuthnott	X		X
Brenner		X*	X
DeSchutter	X		X*
Doya	X*		X
Endo	X	X	
Masai	X	X	
Maruyama	X	X	
Miller			X
Naito	X		
Price		X	
Samatey		X*	
Satoh		X	
Sinclair			X
Stiefel	X		X
Takahashi	X		
Tomomura		X	
Tripp	X		
Wickens	X		X
Yanagida		X	
TOTAL	11	9	8

\* Chair or Co-Chair

## Survey of Universities and Graduate Schools

大学・大学院等に関する調査

### <Objective 本調査の目的>

The objective of this survey is to collect information concerning universities and graduate schools in order to contribute to the preparative work for the establishment of the Graduate University by Okinawa Institute of Science and Technology (hereafter OIST).

本調査は、大学及び大学院等に関する情報を収集し、独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構（以下、機構と称す）における大学院大学の設立準備に資することを目的とする。

### <Survey items 本調査の内容>

- Education and research fields  
教育・研究分野
- Organization structure, regulations, bylaws, etc.  
組織体制、各種規定等
- Personnel system for faculty and researchers  
教員、研究者の人事制度
- Finance, including revenue / expenditure; remuneration structure of presidents, other officers, professor, and researchers; and student support.  
財務（収入・支出を含む）、報酬制度（学長、大学役員、教員及び研究者、各種給付金、手当を含む）、学生支援制度

The information was collected preliminarily from each institution's websites and other sources, followed by the on-site interviews with appropriate officers / staff of each institution.

調査にあたっては、各種情報をそれぞれの調査機関のウェブサイト等より収集した。予備調査を行った上で、対象機関の担当者にはアヒリング調査を実施した。

### <Target universities 対象機関>

- *Massachusetts Institute of Technology (MIT)* マサチューセッツ工科大学
- *California Institute of Technology (Caltech)* カリフォルニア工科大学
- *Stanford University* スタンフォード大学
- *University of Cambridge* ケンブリッジ大学
- *University of Tokyo* 東京大学大学院新領域創成科学研究科
- *Tokyo Institute of Technology* 東京工業大学大学院理工学研究科
- *Keio University* 慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻

## Table of Contents 目次

1. Introduction 序
  - 1.1 Objective 本調査の目的
  - 1.2 Survey items 本調査の内容
  - 1.3 Target universities and graduate programs 調査対象大学・大学院プログラム
2. Education and research fields 教育・研究分野
  - 2.1 Outline of the target universities and graduate programs 調査対象大学・大学院プログラムの概要
  - 2.2 Graduate programs 大学院プログラム
    - 2.2.1.1 Degree conferment 学位授与
    - 2.2.1.2 Admissions 入学
    - 2.2.1.3 Master's programs 修士課程
    - 2.2.1.4 Doctoral programs 博士後期（後期博士）課程
  - 2.3 Evaluation of education and research activities 教育・研究活動評価
3. Organization Structures; regulations, bylaws, etc. 組織体制・各種規定等
  - 3.1 Organization structures 組織体制
    - 3.1.1 Number of members involved 人数構成
  - 3.2 Regulations, bylaws, etc. 規則・規程など
4. Personnel system for faculty and researchers 教員・研究者の人事制度
  - 4.1 Legislation and practices affecting personnel system 人事制度についての法令
  - 4.2 Personnel system for faculty members 教員の人事制度
  - 4.3 Personnel system for researchers 研究者の人事制度
  - 4.4 Personnel system for administrative staff 職員の人事制度
5. Finance, remuneration structure, student support 財務、報酬制度、学生支援
  - 5.1 Finance 財務
    - 5.1.1 Revenue 収入
    - 5.1.2 Expenditure 支出
  - 5.2 Remuneration system, including benefits and welfare 報酬制度（手当、福利厚生含）
    - 5.2.1 summary まとめ
      - 5.2.1.1 Compensation 給与
      - 5.2.1.2 Benefits and welfare 福利厚生・手当
  - 5.3 Student Support 学生支援
    - 5.3.1 Financial Support 経済支援
    - 5.3.2 Other Support その他の支援

ラボゾーン施設整備状況(2009年3月)/Lab zone construction progress March 2009



恩納村キャンパス施設整備状況(2009年3月) // OIST Onna campus progress March 2009



トンネル/tunnel



メインエントランス擁壁  
/main entrance



シーサイドキャンパス

シーサイドハウス

ジメン川



シーサイドファカルティハウジング  
/seaside faculty housing



立坑  
/elevator shaft



容易輸搬バイパス (事業中)

オーディトリウム  
駐車場

シリン川

メインアクセス

生活関連ゾーン

共同住宅

メインキャンパス

研究棟1  
トンネル  
センター棟  
研究棟2  
研究棟3

研究・実験施設ゾーン



シーサイドハウス/seaside house

幹道赤間線



ラボゾーン/lab zone



ビレッジゾーン/village zone

- 研究実験施設 (50PI)
- 大学厚生施設 (50PI)
- 宿泊施設 (50PI)
- 設備棟・駐車場 (50PI)
- レストラン

敷地面積:  
メインキャンパス: 約70ha  
シーサイドキャンパス: 約7ha









平成20年度 職員研修リスト

日程	研修プログラム	主催	参加者
2008/6/30	単品スライド条項の運用に関する説明会	国土交通省	2
2008/7/25	公共調達説明会	文部科学省	1
2008/7/25, 2008/8/29, 2008/9/26 2008/10/3, 2008/11/21 2008/12/19, 2009/1/23	労働法セミナー	株式会社 シー・イー・アイ	8
2008/9/18	平成21年度科学研究費補助金公募要領等説明会	文部科学省 日本学術振興会	4
2008/9/29	国立大学法人施設系セミナー	文科省	1
2008/10/2	公共工事と会計検査講習会	財団法人経済調査会	2
2008/10/13	DNAシーケンシング・マイクロアレイ実践法セミナー	アジレント(株)	10
2008/10/10-2009/1/30 (毎週金曜)	公開講座：企業の社会的責任・コンプライアンス応用	琉球大学	2
2008/10/14-2008/10/22	ロッシュ社FLX・DNAシーケンサー 操作トレーニング	OIST・DNAシーケンシングセンター / ロッシェ社	13
2008/10/23	独立行政法人等における内部統制構築案に当って	新日本有限責任監査法人	2
2008/11/17	知的財産権制度説明会（実務者向け）	内閣府沖縄総合事務局	2
2008/11/21	高齢者雇用推進講習	(社) 沖縄雇用開発協会	2
2008/12/5	政府出資法人等の調達担当者を対象とした入札談合問題に関する研修会	OCB/内閣府沖縄総合事務局	2
2008/12/8-2009/3/24	日本語研修	日本語研修 異文化間コミュニケーションセンター	31
2008/12/10	知財セミナー	深見特許事務所	31
2008/12/10	独立行政法人等における内部統制システムの導入に向けて	新日本有限責任監査法人	1
2008/12/23-12/25	IBM ロータリオン システム マネジメント 1, 2	IBM	2
2009/1/5-2009/3-31	内閣府本府行政実務研修	内閣府	1
2009/1/9, 2009/1/15, 2009/1/16 2009/2/2-2009/2/3, 2009/2/24	ファイルメーカー	ジュッポー	20
2009/1/20	情報公開、個人情報保護法	総務省	3

日程	研修プログラム	主催	参加者
2009/1/23	安全保障貿易管理（外為法）説明会	琉球大学産学官連携推進機構	2
2009/2/9-2/10	Leopard Help Desk	マイクロメイツ東京トレーニングセンター	3
2009/2/27	J申請取次と出入国事務	(財) 入管協会	3
2009/3/4-3/6	IBM ロータリオン システム マネジメント I 3	IBM	1
2009/3/6	グリーン購入法基本方針説明会	環境省	2
2009/3/9-2009/3/13	ロッシュ社FLX Titanium・DNAシーケンサー 操作トレーニング	OIST・DNAシーケンシングセンター/ロッシュ社	9
2009/3/10	平成20年度浄化槽設置者講習会	社団法人 沖縄県環境整備協会	1
2009/3/11	特別研究員募集等に関する説明会	日本学術振興会	1
2009/3/13	DNA断片化装置コパリスS2操作研修	OIST・DNAシーケンシングセンター/エムエス機器(株)	9
2009/3/17-2009/3/19	イルミナ社DNAシーケンサーGA-II 操作トレーニング	イルミナ(株)	15

研修合計： 30件

参加人数： 186名

# OIST Organization Chart

## OIST 組織図

